

会社概要

インフィニオン テクノロジーズ
2026年11月

Public

Driving decarbonization and digitalization. Together.



半導体は、現代のエネルギー問題の解決や、また、デジタルトランスフォーメーションの実現に欠かせないものです。

だからこそ、インフィニオンは脱炭素化とデジタル化の推進に積極的に取り組んでいます。

パワーシステムおよびIoT向け半導体の世界的リーダーとして、インフィニオンは、エコで効率的なエネルギー、クリーンで安全なモビリティ、スマートでセキュアなIoTのための革新的なソリューションを実現します。

インフィニオンは、暮らしをより便利に、安全に、エコにします。お客様やパートナーとともに。
よりよい明日のために。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは主要市場でNo.1を誇る世界的な半導体リーダー

世界的な事業規模とイノベーション

~58,100
全世界の従業員数[1]

89
研究開発拠点

13
製造拠点

約160億ユーロ
売上高



市場でのリーダーシップ

オートモーティブ	パワー	マイクロコントローラー
#1	**#1**	**#1**
TechInsights、2026年4月	Omdia、2026年10月	Omdia、2026年8月

[1] 2026年9月30日現在

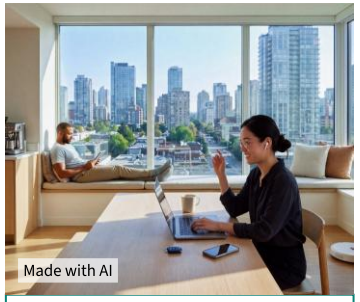
Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオン概要

事業部



オートモーティブ

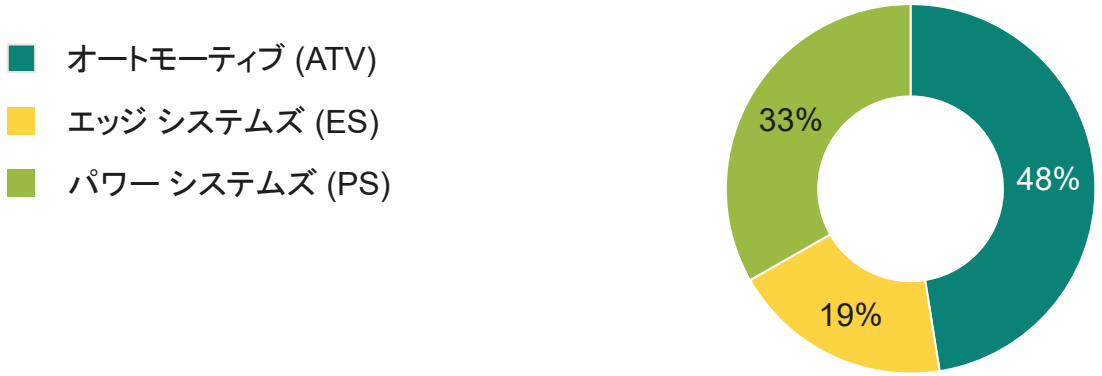


エッジ システムズ

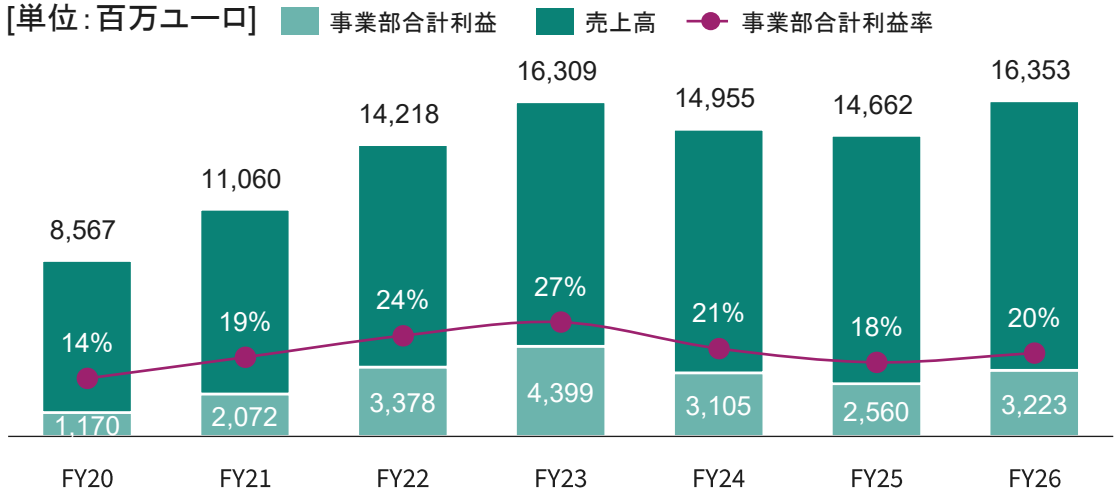


パワー システムズ

2026年度事業部別売上高[1]



財務情報

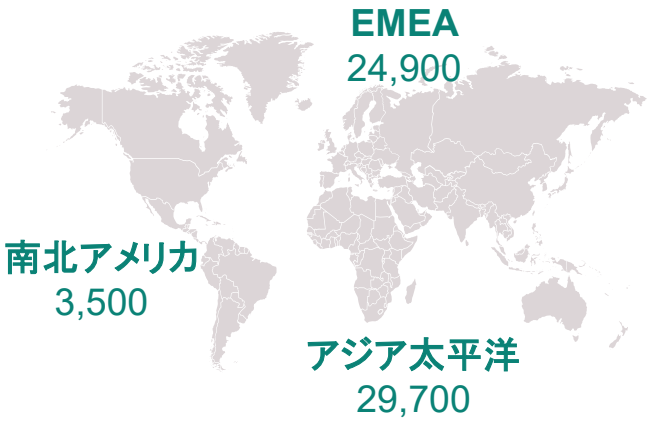


従業員[1]

58,100
全世界の従業員数

89
研究開発拠点

13
製造拠点[2]

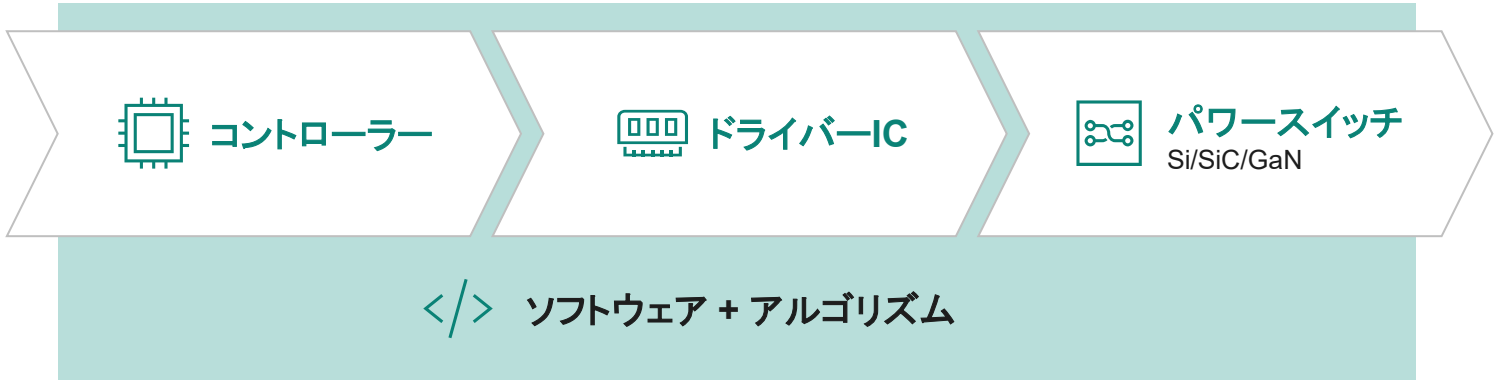


詳細情報：Infineon Annual Report.

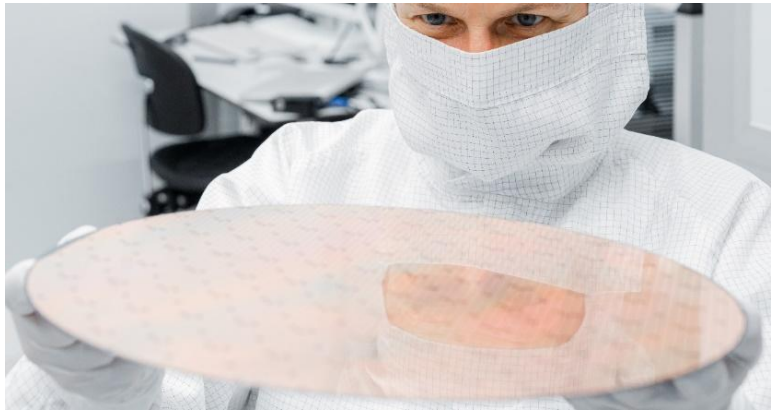
[1] 2026年度 (2026年9月30日現在) | [2] 2026年9月30日現在

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

パワーシステムのリーダーとして、3つの主要材料に精通



パワーシステムのあらゆる材料およびテクノロジーにおける主導的地位



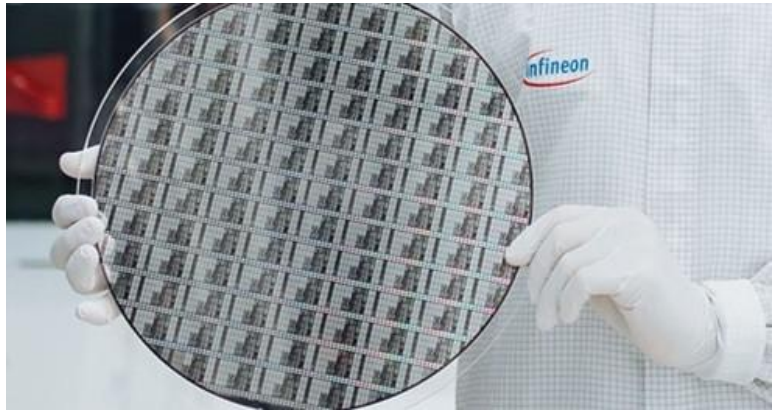
Si

Si (シリコン)
ダイオード – MOSFET – IGBT – ドライバー – コントローラー



SiC

SiC (炭化ケイ素)
ダイオード – MOSFET



GaN

GaN (窒化ガリウム)
HEMT – ドライバー

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

いつでも、どこでも、デジタル技術が身近に – エッジ システムの重要な推進力となるAI

暮らし





仕事

エッジAI

エッジシステムが、人とデジタル世界のシームレスなつながりを実現

センシング

コンピューティング

ネット接続

セキュリティ

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

未来のセキュリティを、今日から。
つながる世界を支える、信頼性と将来性を備えたソリューション

インフィニオンが築く信頼

長年にわたる経験
45年以上にわたる実績あるハードウェアベースのセキュリティは、政府、産業界、消費者から信頼を得ています。

コンプライアンス対応
EUサイバーレジリエンス法（CRA）やISO規格など、現行および今後の法令や規格への準拠を支援し、つながる世界に対する社会のニーズに応えます。

将来を見据えた対応
耐量子暗号（PQC）など、製品およびシステムレベルにわたるソリューションで将来の脅威や要件に対処します。

ハードウェア セキュリティ製品 | セキュリティIP | セキュリティ サービス | セキュリティ ソフトウェア

保護
デバイス、識別情報、データ

認証
信頼できるエンティティ、アクセス

セキュアな接続
保護されたデータ通信

レジリエンスの構築 – ライフサイクルおよび進化する脅威

セキュリティを通じてコネクテッドワールドを実現

信頼できる識別情報
- 決済
- 政府系ID
- eSIM/iSIM
- アクセス コントロール

信頼できるデバイス
- トラステッド・プラットフォーム・モジュール (TPM)
- セキュア エレメント (SE)
- IoT認証
- デバイスの完全性

信頼できるモビリティ
- 車両アクセス
- V2Xセキュリティ
- ソフトウェア定義車両 (SDV)

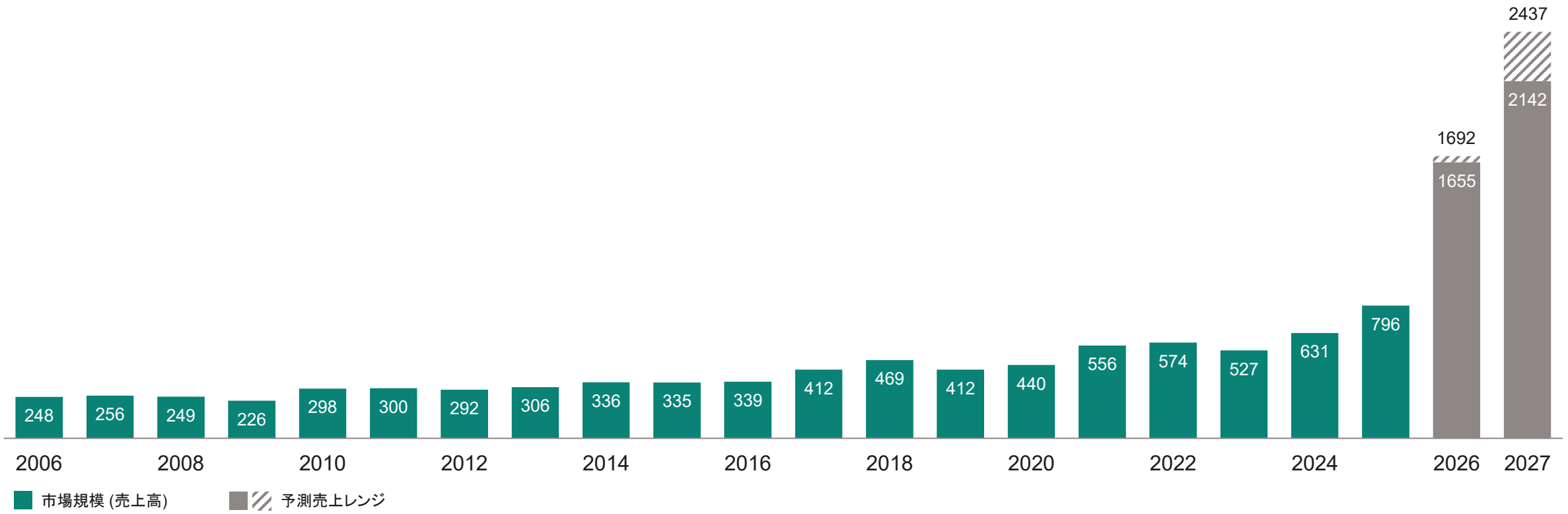
信頼できるインフラ
- 産業オートメーション
- スマート エネルギー
- データセンター

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

半導体市場予測：今年は1.6兆米ドルを超える見込み

世界半導体市場

[単位：10億米ドル]

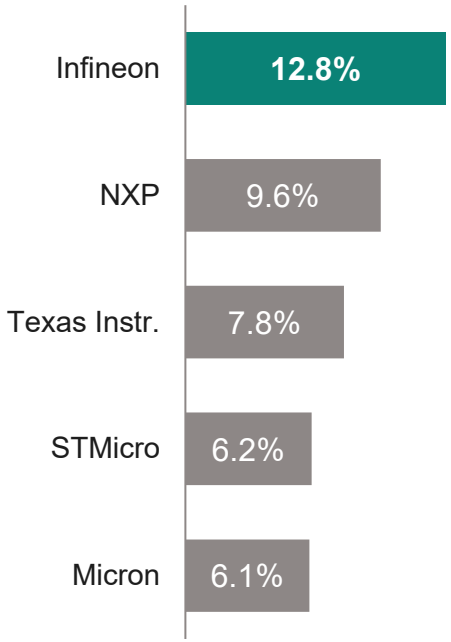


出典：過去データはWSTS | **予測**：WSTS、Omdia、Gartner、TechInsights の平均値 (最終更新2026年10月1日)

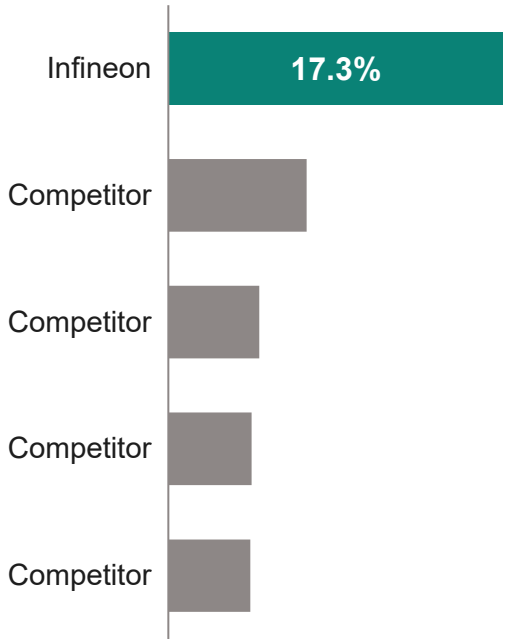
Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは車載用およびパワー半導体で首位
マイクロコントローラー市場全体でも首位

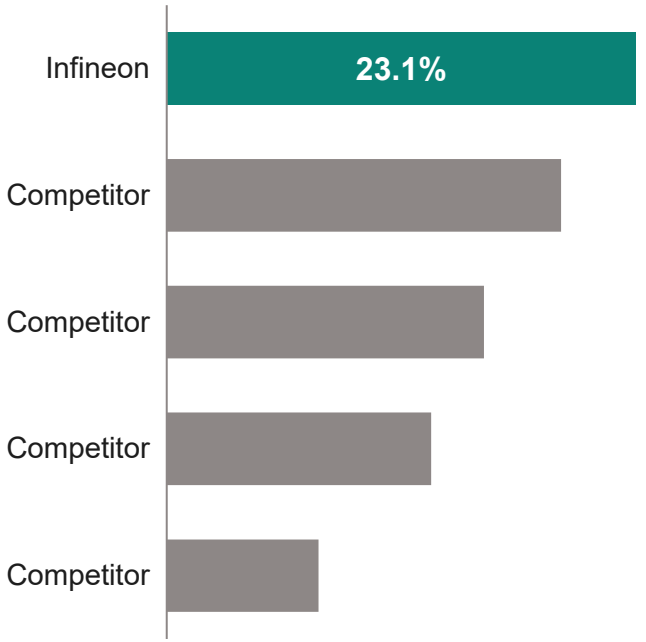
車載用半導体
2025年 市場規模：744億米ドル[1]



パワー半導体
2025年 市場規模：325億米ドル[2]



マイクロコントローラーのサプライヤー
2025年 市場規模：222億米ドル[3]



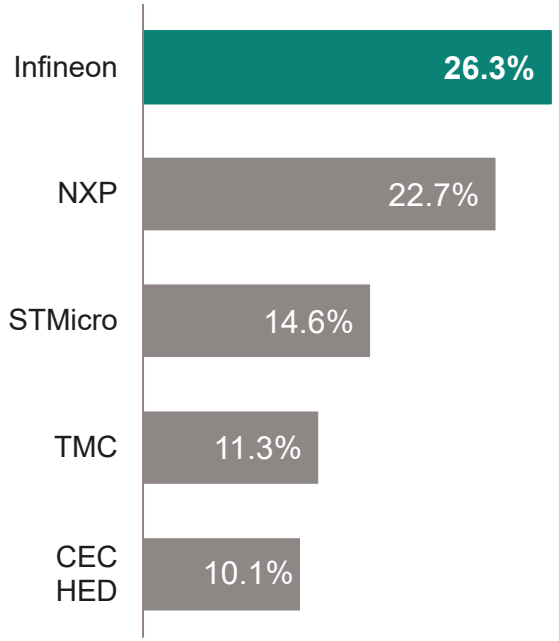
[1] TechInsights: Automotive Semiconductor Vendor 2025 Market Shares. 2026年4月。| [2] Omdia: Power Semiconductor Market Share Database – 2H26 (2025 Base Year). 2026年10月。| [3] Omdia: Annual 2001-2025 Semiconductor Market Share Competitive Landscaping Tool – 2Q26. 2026年8月。| この結果はインフィニオン テクノロジーズが保証するものではありません。第三者自身の責任にてご利用ください。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンはセキュリティICおよびMEMSマイクロフォンでトップを確立、NORフラッシュ市場で4位

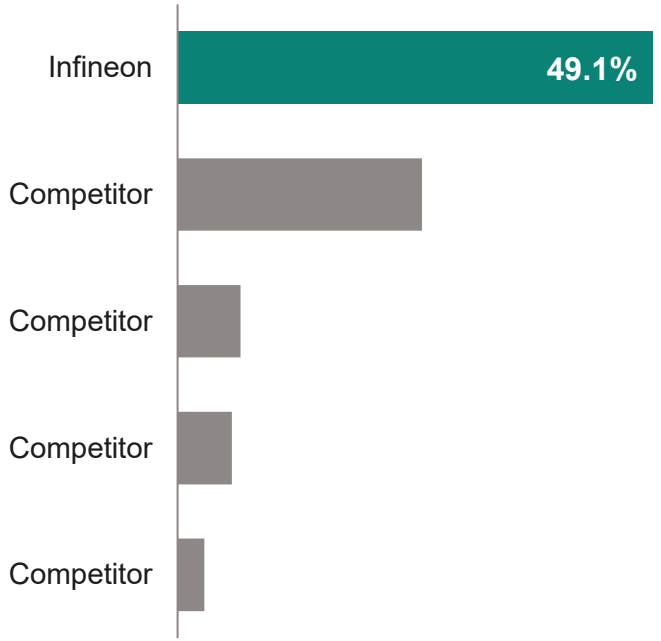
セキュリティIC

2025年 市場規模：31億米ドル[1]



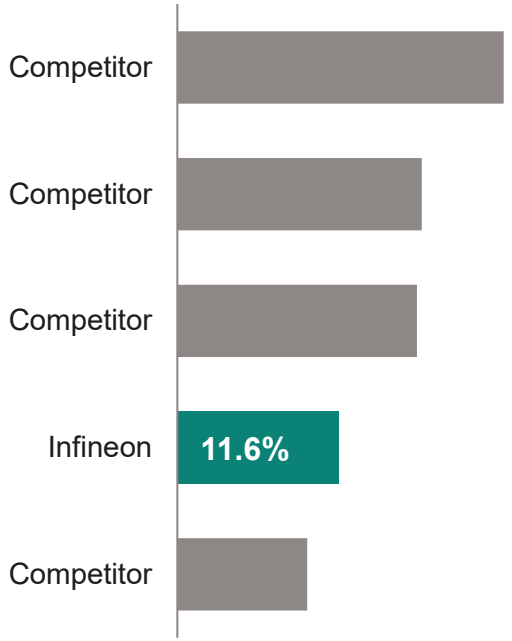
MEMSマイクロフォン

2025年 市場規模：67億個[2]



NORフラッシュ

2025年 市場規模：33億米ドル[3]

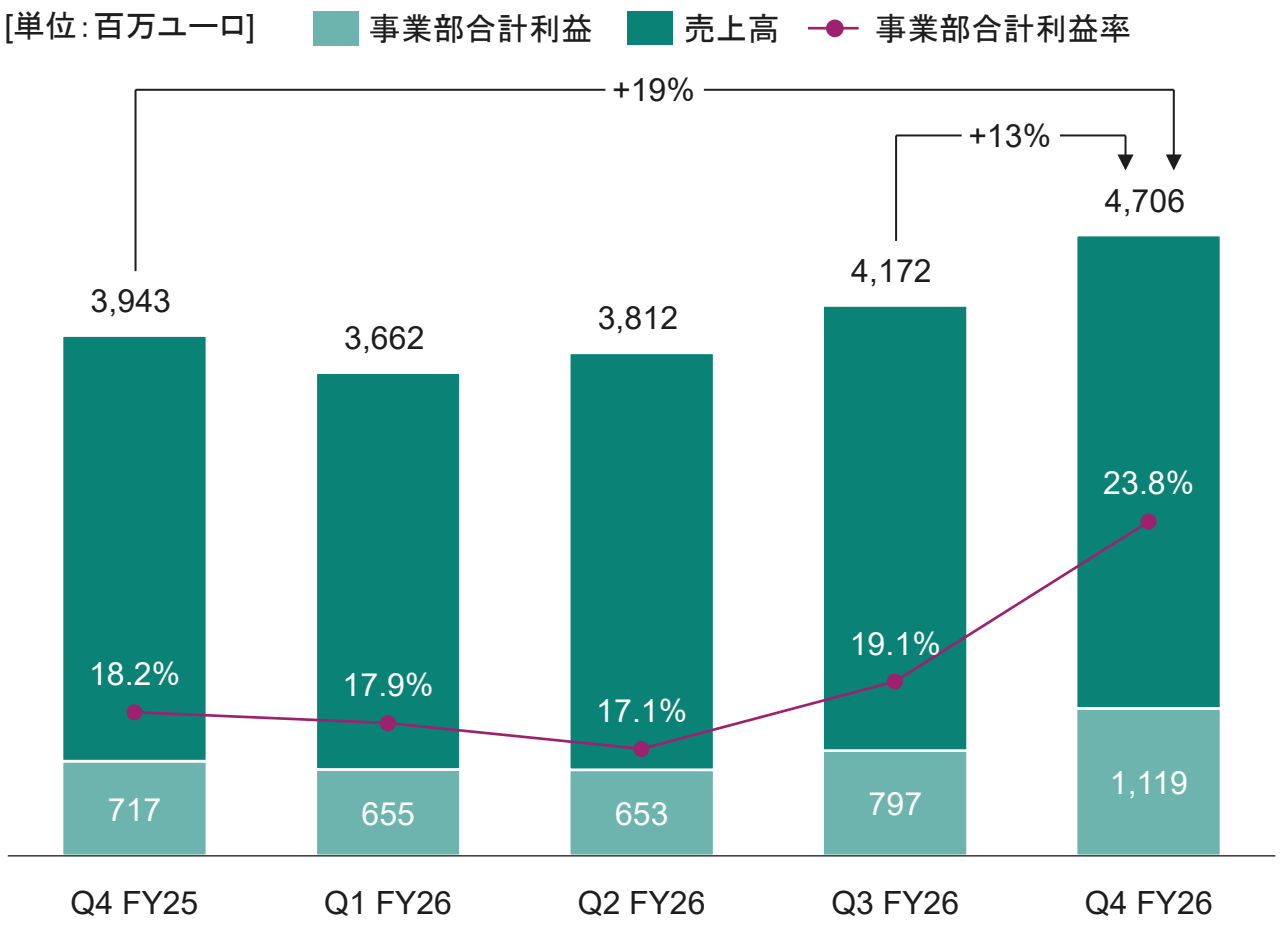


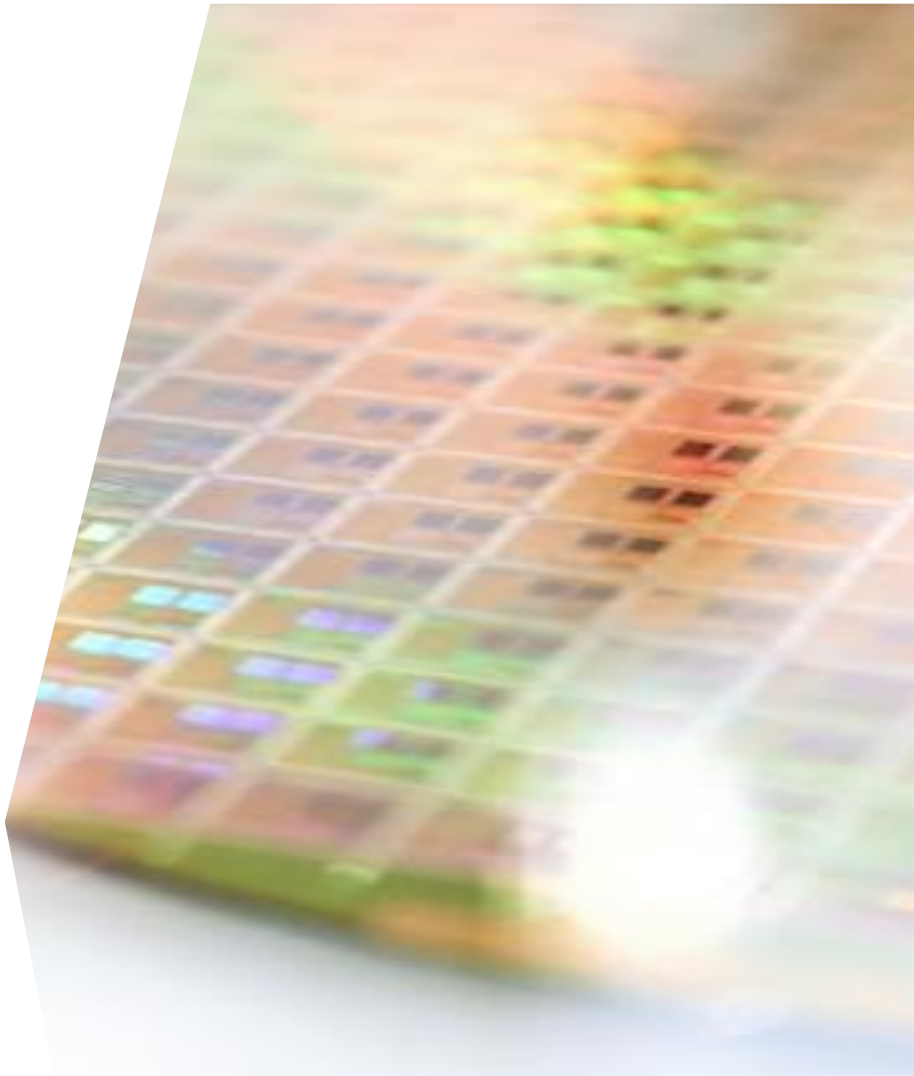
[1] ABI Researchの許諾を得て公開。– 出典：ABI Research Custom: Secure IC Revenues by Manufacturer (NFCを除く). 2026年9月。| [2] Omdia: MEMS Microphone Report – 2026 Database. 2026年9月。| MEMSマイクロフォン ダイのサプライヤー。| [3] Omdia: Annual 2001-2025 Semiconductor Market Share Competitive Landscaping Tool – 2Q26. 2026年8月。| この結果はインフィニオン テクノロジーズが保証するものではありません。第三者自身の責任にてご利用ください。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

財務実績

売上高および事業部合計利益





Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

事業部別売上割合[1]

オートモーティブ

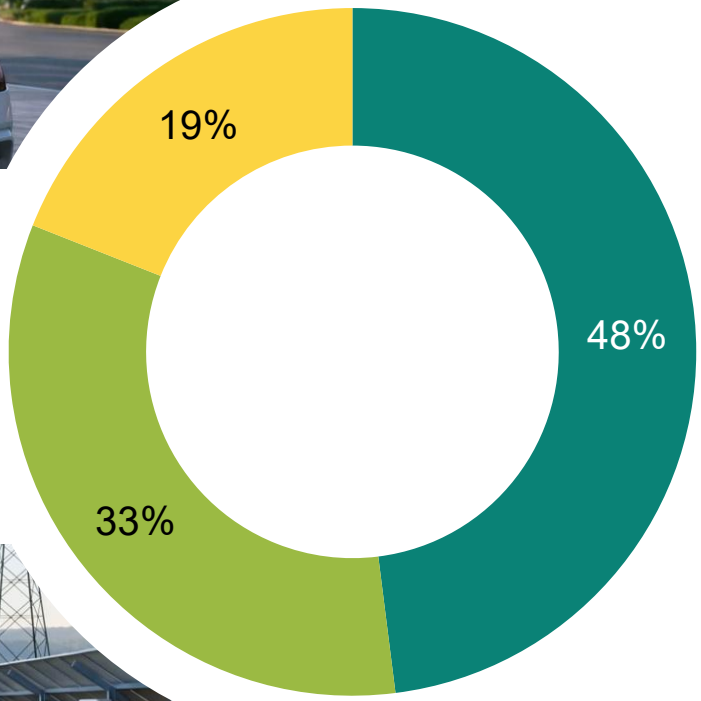


エッジ システムズ



パワー システムズ



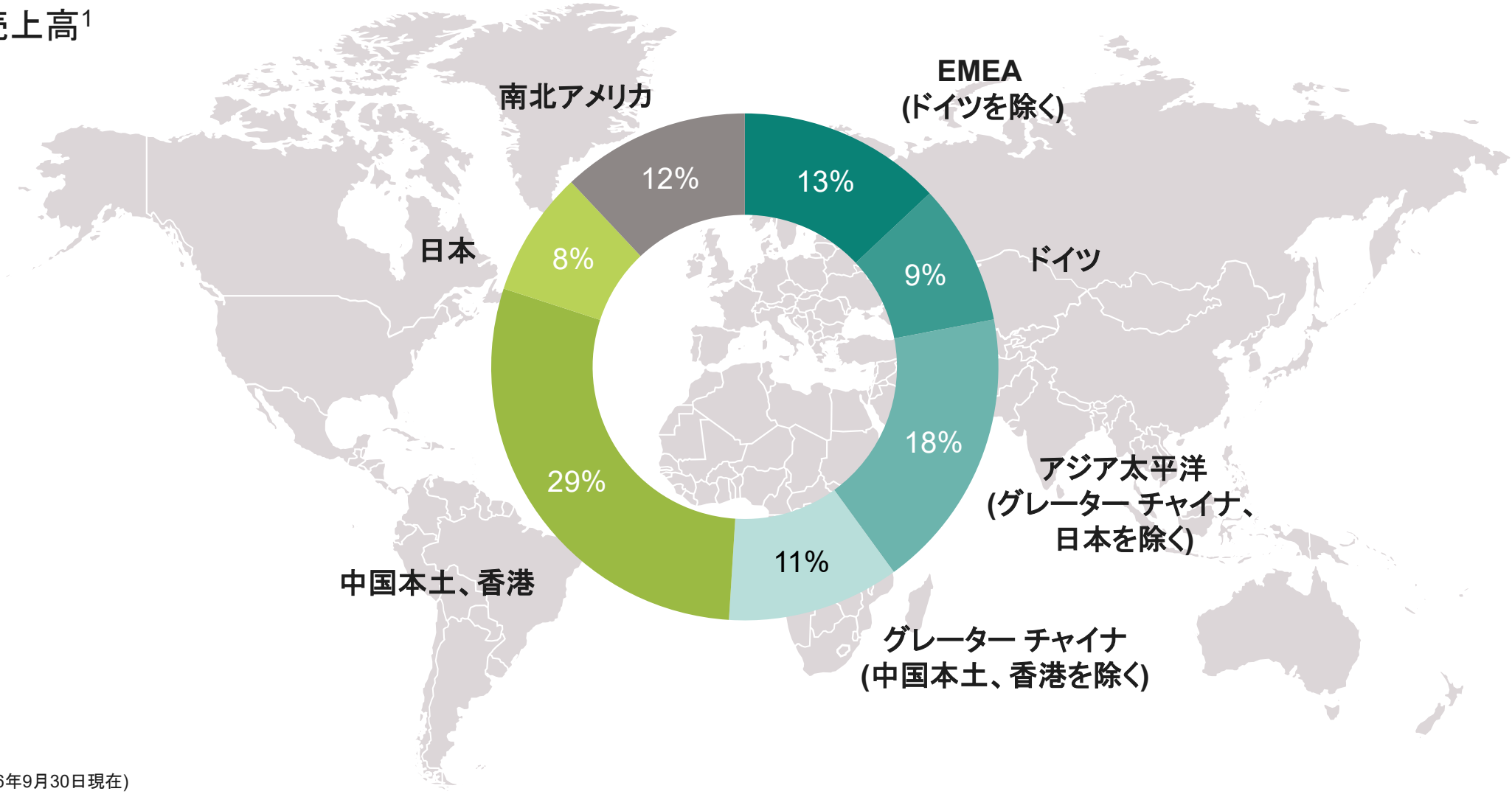


[1] 2026年度 (2026年9月30日現在)

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは世界の主要地域で事業を展開

地域別売上高[1]

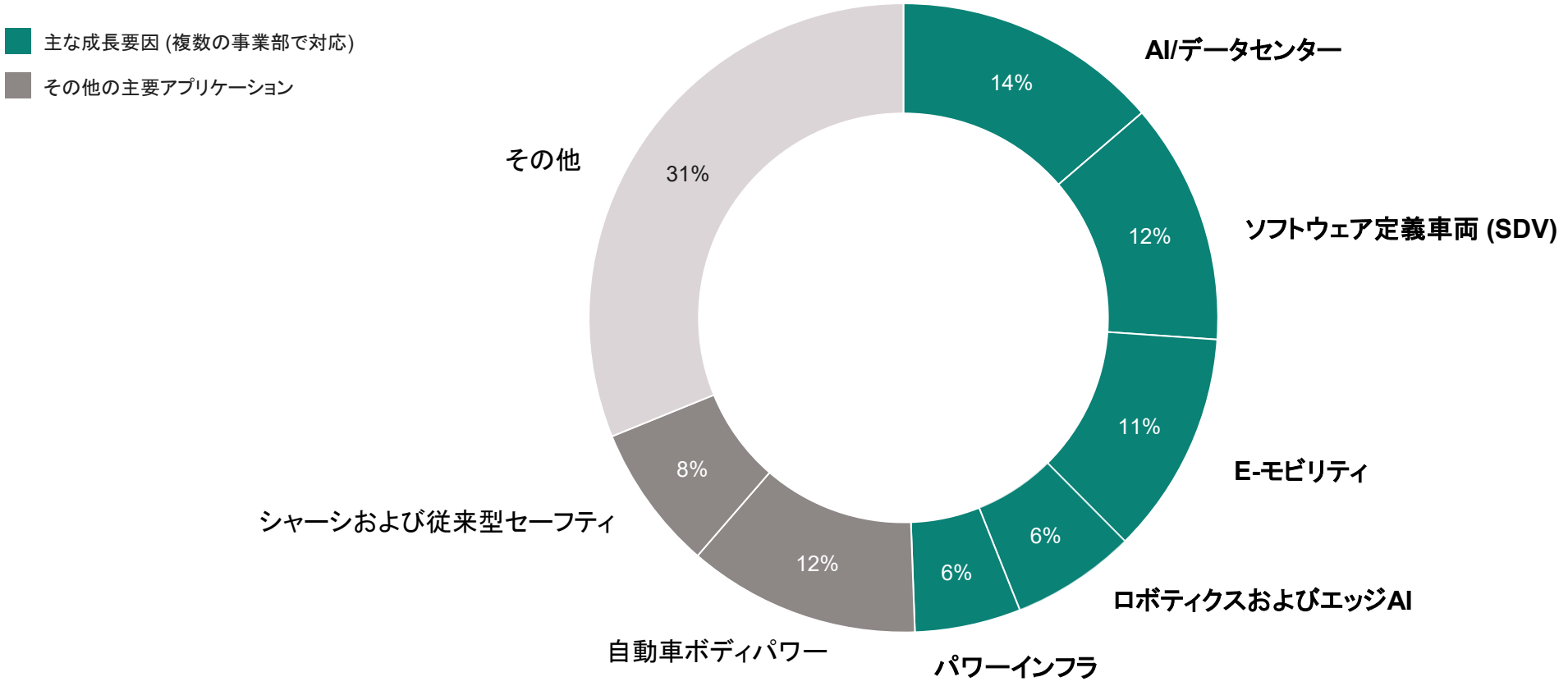


[1] 2026年度 (2026年9月30日現在)

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

主要な成長アプリケーションでバランスの取れたポートフォリオ

主要な成長アプリケーション別売上高[1]



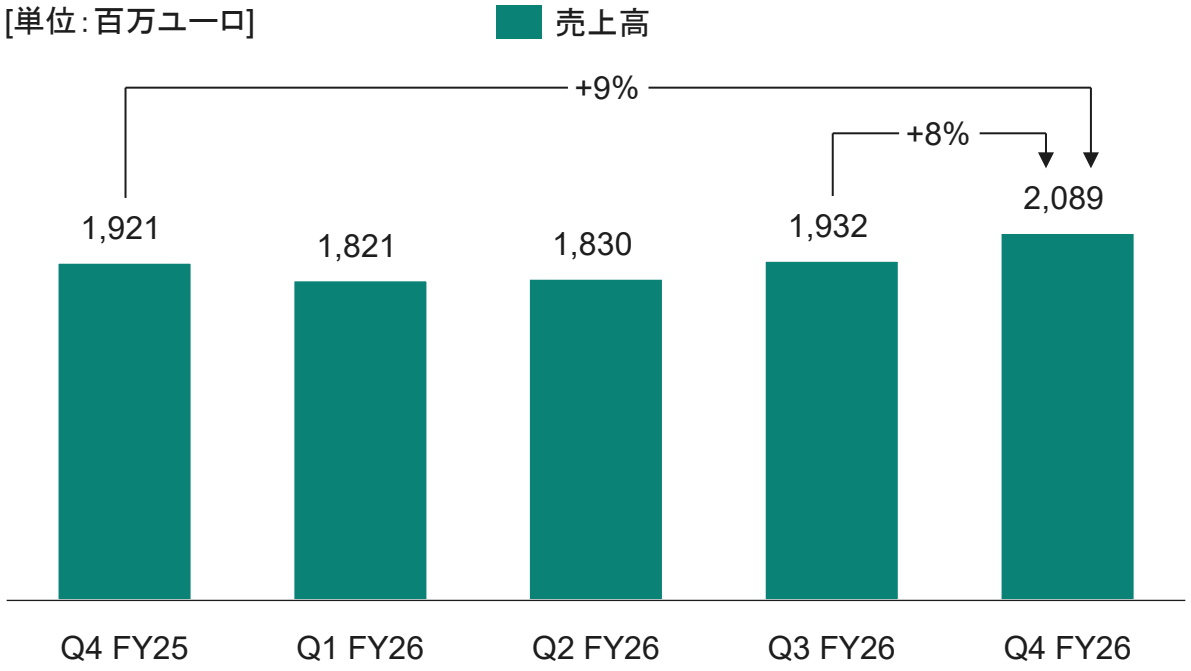
[1] 2026年度 (2026年9月30日現在)

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

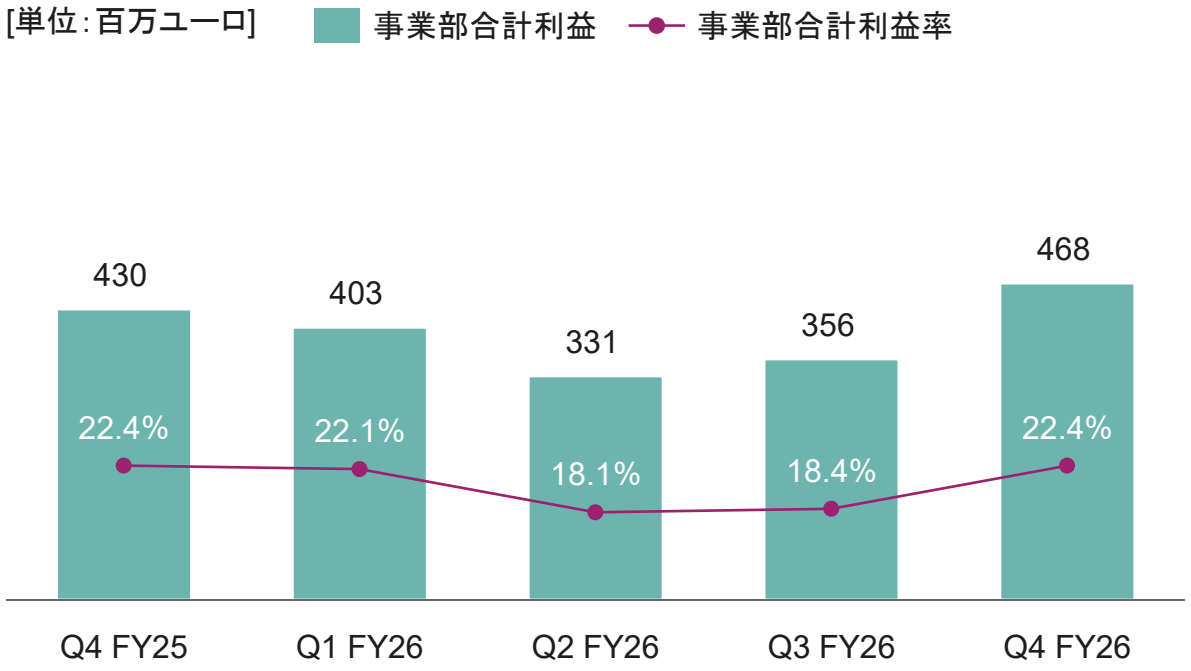
オートモーティブ (ATV)

コア アプリケーション：アシスト システムおよびセーフティ システム、コンフォート エレクトロニクス、
インフォテインメント、パワートレイン、セキュリティ

売上高



事業部合計利益

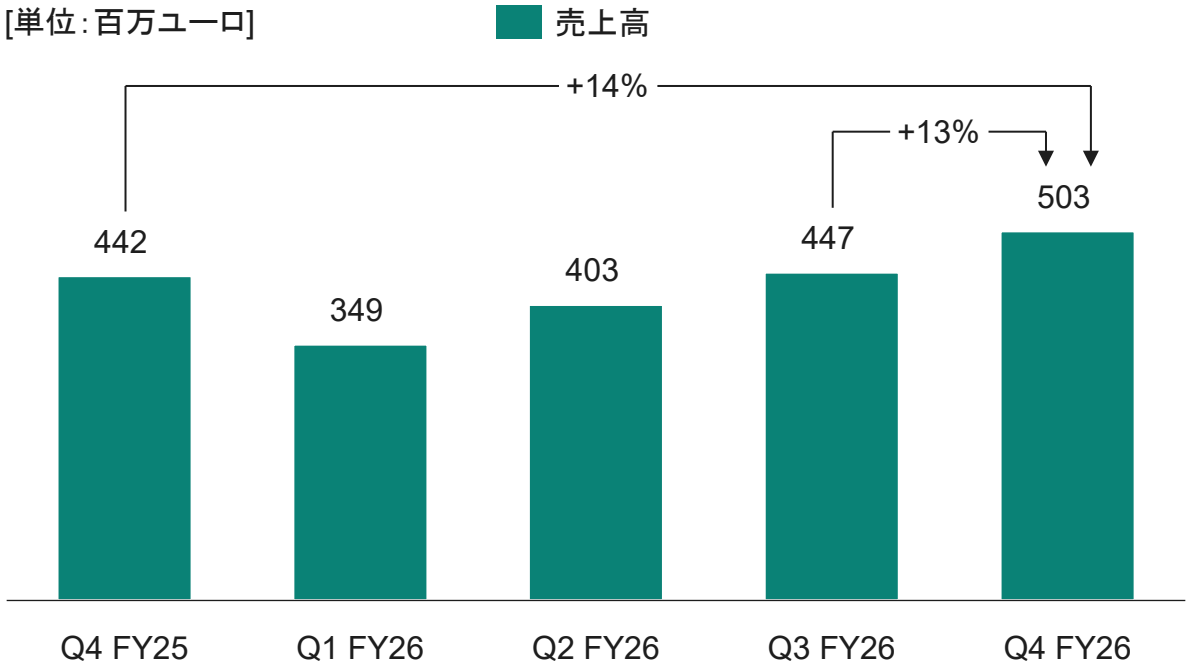


Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

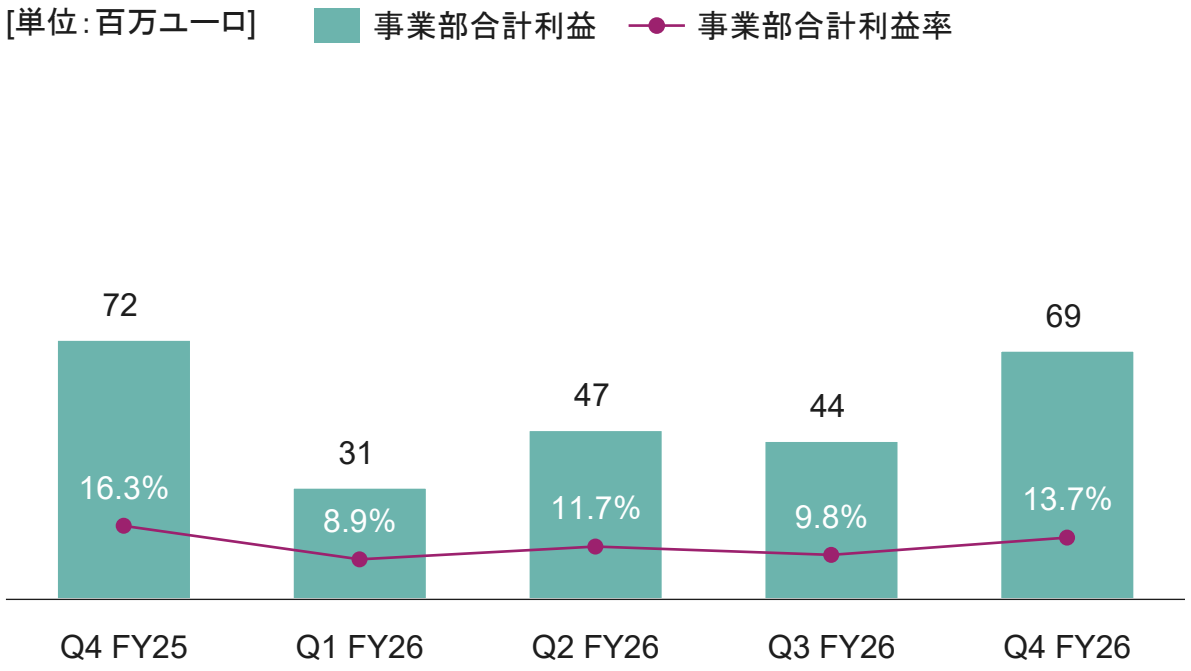
グリーン インダストリアル パワー (GIP)

コア アプリケーション：空調テクノロジー、発電、蓄電、エネルギー伝送、家電、産業用駆動装置、
産業用電源装置、産業用車両、公共輸送

売上高[1]



事業部合計利益[1]



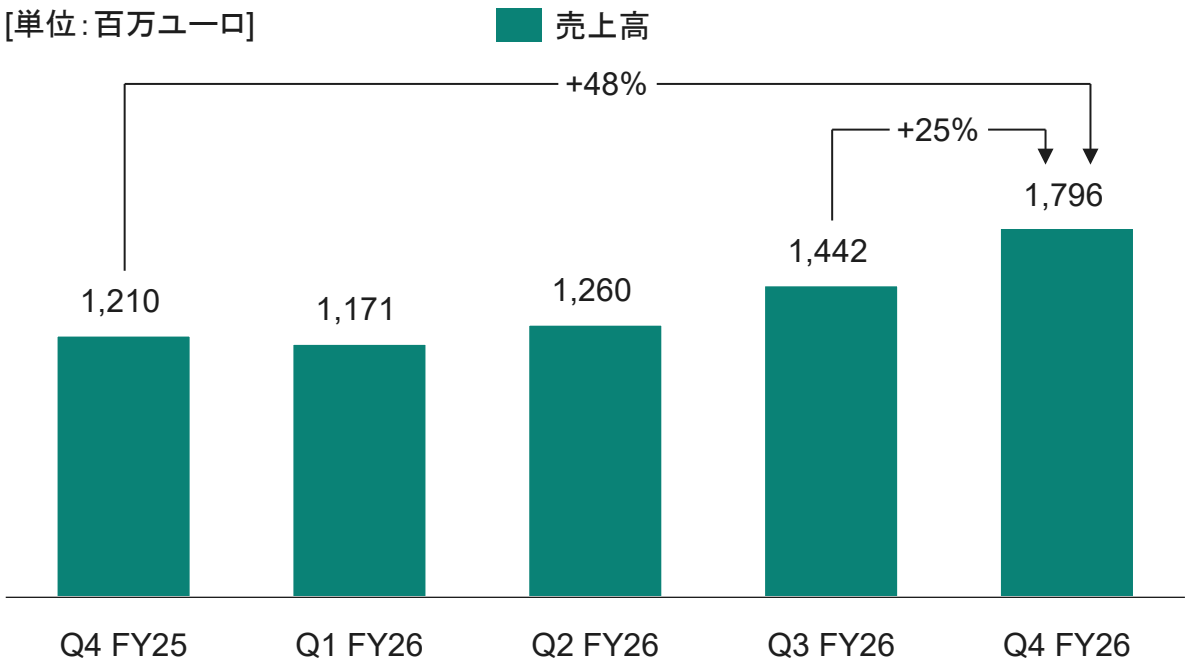
[1]「Power Drivers & Signal ICs」事業分野がGIPからPSSに移管されたことにより、過去にさかのぼって数値調整を実施

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

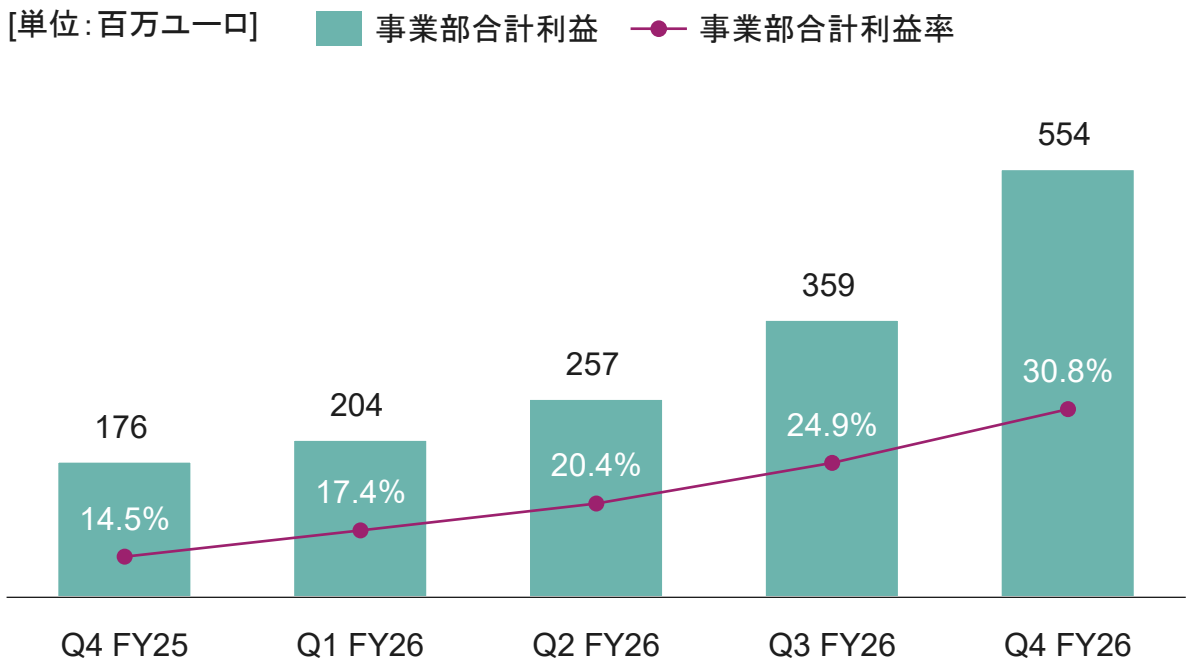
パワー&センサー システムズ (PSS)

コア アプリケーション：オーディオアンプ、自動車用エレクトロニクス、BLDCモーター、携帯電話通信インフラ、
電気自動車用充電ステーション、ヒューマン マシン インターフェース、IoT、LED/従来型照明システム、
屋上太陽光発電システム用マイクロコンバータ、モバイル デバイス、パワー マネジメント、
過酷な環境下の特殊アプリケーション

売上高[1]



事業部合計利益[1]



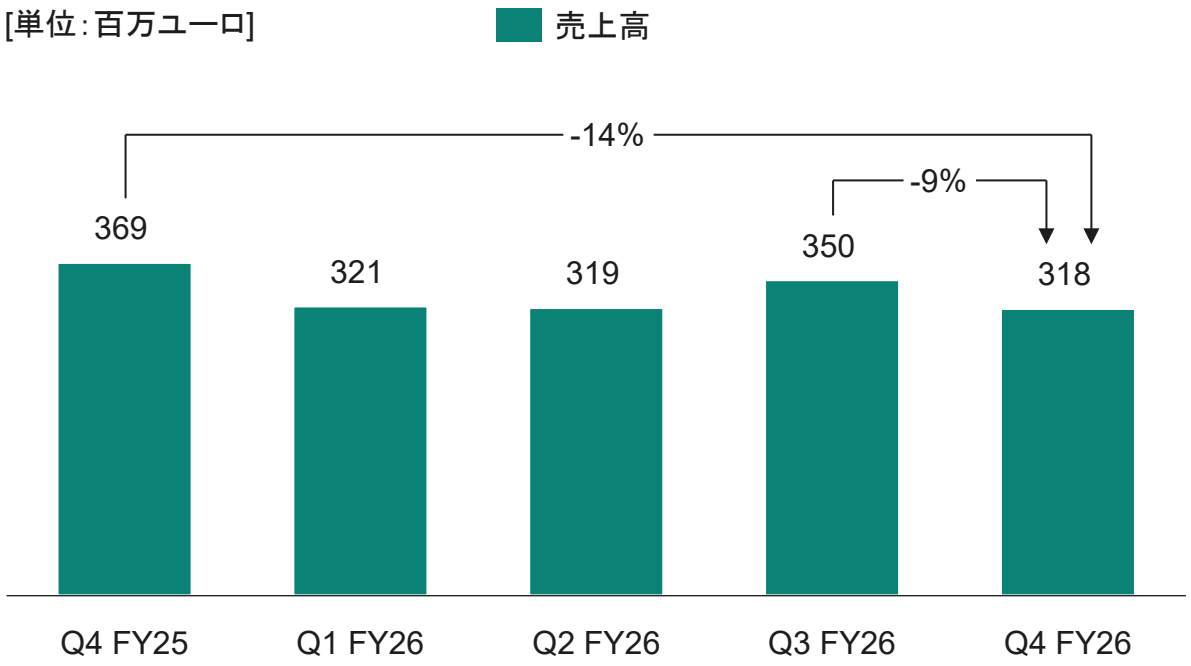
[1]「Power Drivers & Signal ICs」事業分野がGIPからPSSに移管されたことにより、過去にさかのぼって数値調整を実施

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

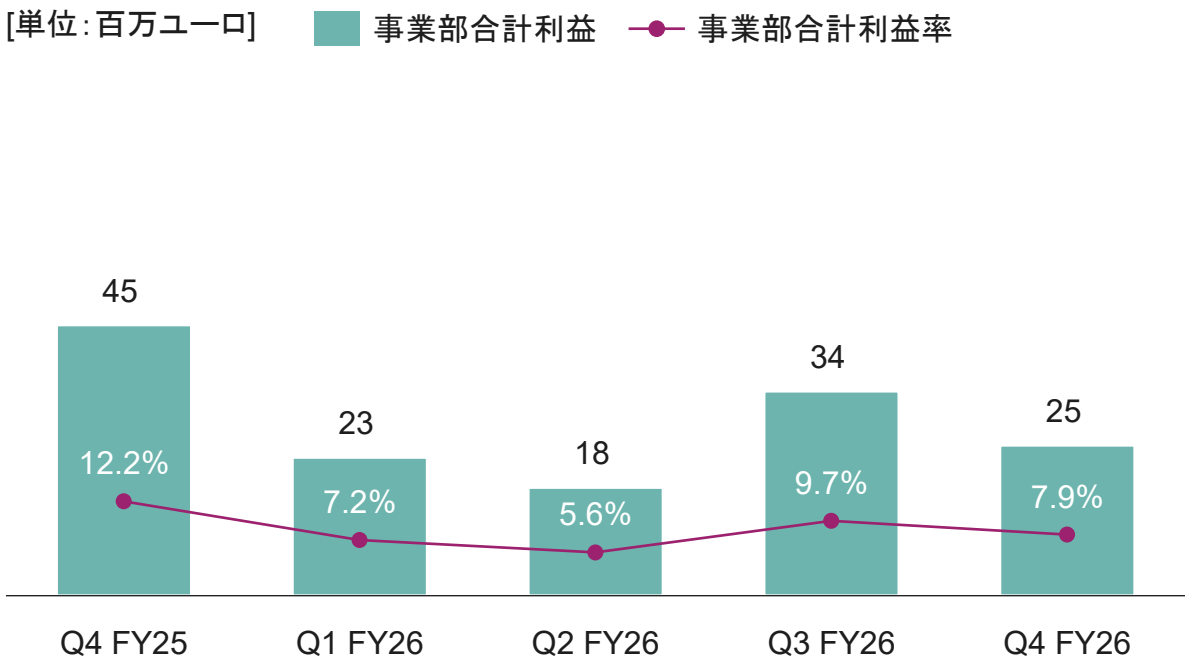
コネクテッド セキュア システムズ (CSS)

コア アプリケーション：認証、車載、家電、政府系ID、IoT、モバイル通信、決済システム、発券、
アクセス コントロール、トラステッド コンピューティング

売上高



事業部合計利益



Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

バランスのとれた顧客構成

2026年度販売チャネル別売上 (総売上額の10%超を占める顧客はいない)

販売パートナー[1]

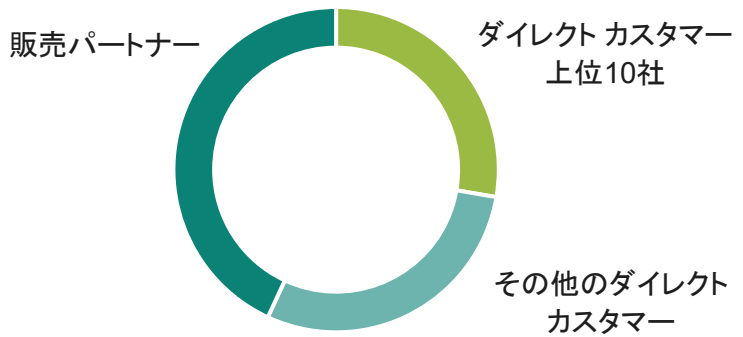
Arrow, Avnet, intron 英恒, JCT, Macnica, Marubun, NEXTY Electronics, TOKYO ELECTRON DEVICE, 威健 WEIKENG, wpg

ダイレクト カスタマー上位10社[1]

APTIV, AUMOVIO, BOSCH, DELTA, FORVIA, Goertek, HYUNDAI MOTOR GROUP, SCHAEFFLER, Valeo, ZF

EMSパートナー[1]

FOXCONN HON HAI TECHNOLOGY GROUP, flex



[1] アルファベット順

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

システムのノウハウとアプリケーションへの理解がお客様との緊密な関係を築く

オートモーティブ

APTIV
Astemo
AUMOVIO
BORGWARNER
BOSCH
BYD
DENSO
FORVIA
HL Mando
HYUNDAI
MAGNA
SCHAEFFLER
Valeo
ZF

エッジシステム

amazon
BOSCH
BYD
DELTA
DENSO
ERICSSON
Goertek
Haier
LG
Midea
Nintendo
SAMSUNG
SONY
THALES

パワーシステム

ABB
Advanced Energy
Alpitronic
amazon
Danfoss
DELTA
ERICSSON
flex
Google
HUAWEI
LITEON
SAMSUNG
Schneider Electric
SIEMENS

EMSパートナー

FOXCONN HON HAI TECHNOLOGY GROUP
flex

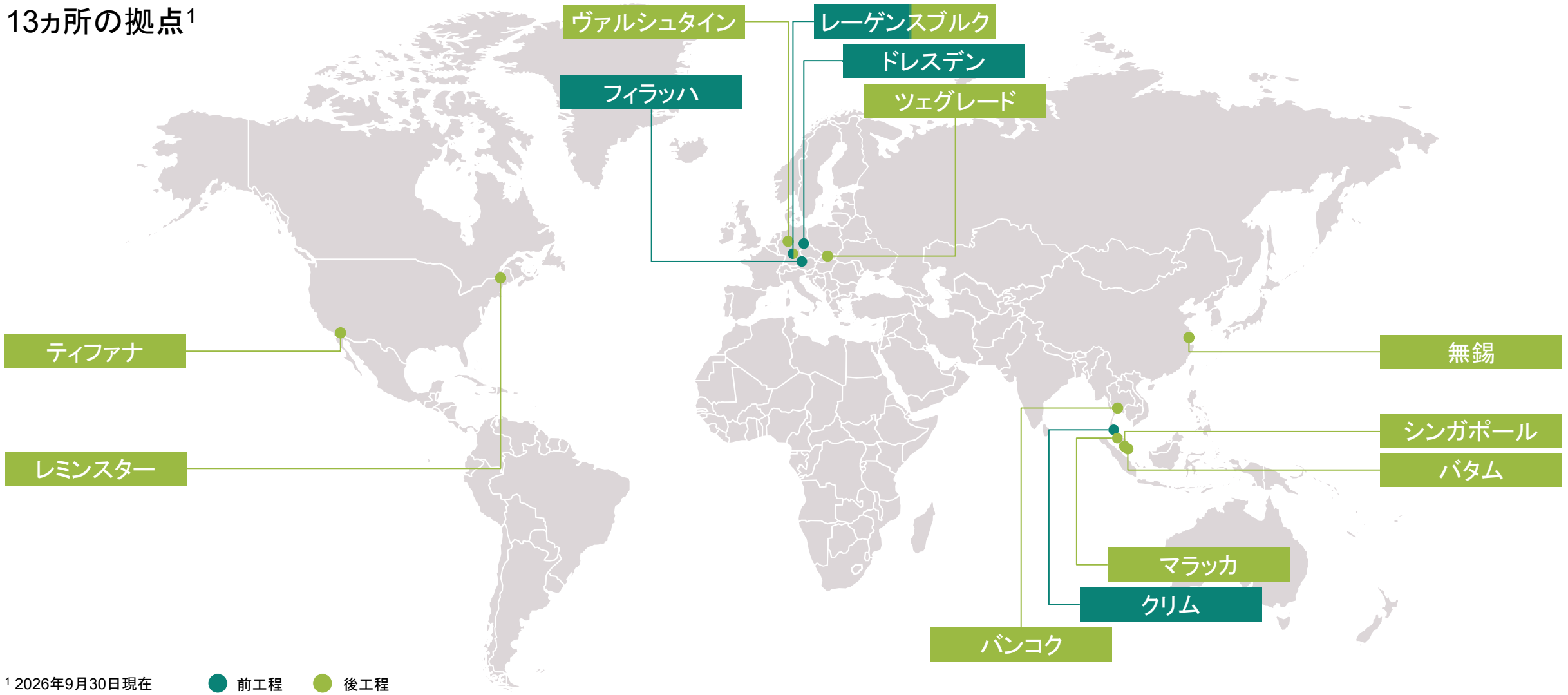
販売パートナー

ARROW
AVNET
intron 英恒
JCT
MACNICA
Marubun Since 1844
NEXTY Electronics
TOKYO ELECTRON DEVICE
威健 WEIKENG
wpg

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは前工程および後工程の製造拠点をグローバルに展開

13ヵ所の拠点[1]



[1] 2026年9月30日現在

前工程　後工程

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

グローバルな研究開発活動



約 16%

インフィニオンの売上高の約16%が研究開発 (R&D) に投資されています。
2026年度のR&Dへの投資額は約26億ユーロに達しています。

全製品で30,900件の特許および特許出願

この数字は高レベルの革新力という強みと長期的な競争力を示しています。インフィニオンは2026年度だけでも約1,850件の特許を新たに出願しました。

多数の革新的なエコシステム

技術系企業、大学、研究所とのつながりはインフィニオンにとって重要なものです。

25の国と地域に56[1]拠点:

南北アメリカ	カナタ (カナダ); アンドーヴァー、エルセグンド、アーバイン、レミンスター、レキシントン、リンウッド、ポートランド、リチャードソン、サンノゼ、ウォーウィック (すべて米国)
アジア太平洋	アーメダバード、バンガロール、ハイデラバード (すべてインド); バタム (インドネシア); イポー、クリム、マラッカ、ペナン (すべてマレーシア); モンティンルパ (フィリピン); シンガポール;サムットプラーカーン(タイ); ハノイ (ベトナム)
グレーターチャイナ	上海、無錫 (いずれも中国); 新竹、台北 (いずれも台湾)
日本	東京 (日本)
欧州	グラーツ、リンツ、フィラッハ (すべてオーストリア); ル ピュイ＝サント＝レパラード (フランス); アウグスブルク、ドレスデン、デュースブルク、エットリンゲン、イルメナウ、ランゲン、ミュンヘン近郊ノイビーベルク、レーゲンスブルク、ヴァルシュタイン (すべてドイツ); ブダペスト (ハンガリー); コーク、ダブリン (いずれもアイルランド); ネタニア (イスラエル); パデュア、パヴィーア (いずれもイタリア); ブラショヴ、ブカレスト、ヤシ (すべてルーマニア); ラッパースヴィル (スイス); ベオグラード (セルビア); バレンシア (スペイン); ブリストル (英国); リヴィウ (ウクライナ)

[1] 従業員30名以上の拠点、2026年9月30日現在

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは気候目標を上回る成果を達成、サステナビリティのロールモデルと市場で評価

100%
グリーン電力

PCF[1] 対象 50%
製品ポートフォリオに占める割合

-81%
2019年ベースライン排出量との比較



81%
過去最高の廃棄物リサイクル率

2025
SBT目標妥当性が認定される

31%
水リサイクル率

1:45
正味環境便益

当社実績の社外からの評価

Ecovadis「プラチナ」ステータス受賞

2026年4月にインフィニオンはMSCI ESGのAA評価を獲得[2]

Dow Jones Sustainability Index に採用

CDPの気候変動および水セキュリティでBランク

ISS ESG コーポレート レーティングで「プライム」ステータス

業界トップパフォーマー

[1] プロダクト カーボン フットプリント (Product Carbon Footprint) | [2] MSCI 免責事項

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

サステナビリティのロールモデルであり続ける
インフィニオンのアプローチと優先事項



気候

インフィニオンは、2020年に発表したとおり、2030年までにスコープ1および2で100% CO_2ニュートラルにすることに引き続きコミットします。さらにSBTiに沿い、2019年比で2030年までにスコープ1・2の温室効果ガス（GHG）排出量を72.5%削減し、2029年までに主要サプライヤー排出量の72.5%をSBT設定済みにすることを約束しています。



水

インフィニオンは、すべての自社製造拠点において、淡水の採取を最小限にとどめるとともに、水リサイクルを最大限に実施して、持続可能な資源利用を確保することにより、責任ある水資源管理にコミットします。水資源に関する目標として、工程用水の再利用率を2026年度の28%から、2030年度までに少なくとも50%に引き上げることを目指しています。



持続可能なポートフォリオ

インフィニオンは、代表的な製品の製品カーボンフットプリントおよびライフサイクルアセスメント(LCA)を提供して透明性を高めると同時に、持続可能なアプリケーションを実現するソリューションによって脱炭素化を推進します。



循環

インフィニオンは、物質フローおよび利用方法の改善、廃棄物排出の最小化、持続的成長が可能な資源循環の完成によって、完全に循環するバリューチェーンを確立するよう努力しています。



社会

インフィニオンは、人権および適正な労働条件を重視し、2030年までに女性管理職比率20%を目指してダイバーシティを推進するとともに、コミュニティを支援することにより、包括的で責任ある文化の発展に努めます。

スコープ1 エネルギー起源の直接排出、PFCガス。| **スコープ2** 電気、熱、冷却。| **スコープ3** 購入製品およびサービス、資本財、スコープ3に関連するエネルギー、上流側の輸送、廃棄物、出張、従業員の通勤、リース資産。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンのグローバル環境サステナビリティ戦略は4つの活動分野に注力



製造拠点におけるサステナビリティ

製造施設、建物、工場のフットプリントを最小限に抑えます



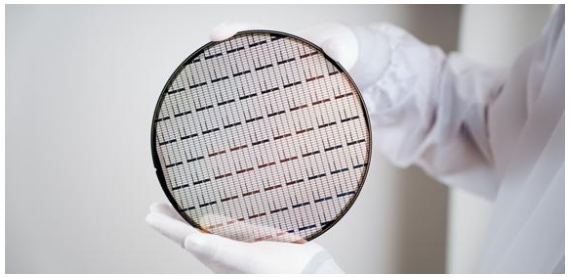
サプライチェーン

インフィニオンはサプライチェーン全体を通じて、環境を意識し、社会的責任のある行動をとります



2つのトランスフォーメーション

デジタル化とサステナビリティの融合により、未来に対応可能な責任ある組織を実現します



製品を通じて

当社の製品は、脱炭素化に大きく貢献する多数のさまざまな用途に組み込まれています



「インフィニオン テクノロジーズの最高デジタル サステナビリティ責任者として、世界中の当社の同僚、お客様、パートナーの皆様とともに、デジタル トランスフォーメーションとグリーン トランスフォーメーションの両方を推進するために、私の権限を行使します。これは、新しい画期的なアイデアを実現するということでもあります」

エルケ ライヒャルト
最高デジタル サステナビリティ 責任者 (CDSO)

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

企業の社会的責任：インフィニオンは環境メリットを創出

さまざまな分野のアプリケーション (車載用電子機器、産業用ドライブ、太陽光および風力エネルギー) で、インフィニオンの製品は、その寿命期間内に約1億4,100万トン (CO_2換算) のCO_2削減を実現します。欧州の電気エネルギーミックスと比較すると、これは、欧州連合の年間正味発電量の約22.3%に相当します。



CO_2負荷[1]

310万トン (CO_2換算)

比率 約1:45



CO_2削減[2]

1億4,060万トン (CO_2換算)

正味環境便益：1億3,700万トン超のCO_2排出を削減

[1] この数値は、スコープ1 (エネルギー起源の直接排出、PFCガス)、2 (電気、熱、冷却) および3 (購入製品およびサービス、資本財、スコープ3に関連するエネルギー、上流側の輸送、廃棄物、出張、従業員の通勤、リース資産) のすべての報告値を考慮しています。これは、社内の収集データと外部入手の換算係数に基づいており、2026年度に関するものです。
[2] この数値は2025年 (暦年) に関するもので、以下に示す分野を考慮しています。電気自動車、再生可能エネルギー (風力および太陽光) および産業用ドライブ。CO_2削減量は、半導体が使用される技術によってなされる削減の可能性に基づいて算定しています。CO_2削減量は、社内外の専門家の推定に基づき、インフィニオンの市場シェア、最終用途での半導体使用量、当該技術の製品寿命を基礎に割り当てられます。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

業界に先駆けてプロダクト カーボン フットプリント データをお客様に提供

企業としてのアクションから個別の製品レベルに至るまで、透明性を確保

お客様は、バリューチェーンにおけるカーボン フットプリントについて、より深い理解が可能

お客様自身のCO_2排出削減戦略をより効果的に促進する手段を創出



「包括的なプロダクト カーボン フットプリント データを提供することにより、ネットゼロ社会というビジョンを推進し、お客様がより一層効果的に二酸化炭素排出を削減できるようにします。」

エルケ ライヒャルト
最高デジタル サステナビリティ 責任者 (CDSO)

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンは、人権、環境、安全な労働条件の尊重を促進します

一致団結して人権のために

国際的に認められた人権の原則および基準、すなわち国際人権章典および世界人権宣言に対する当社のコミットメントは、当社の以下の文書に反映されています。

- CSRポリシー
- 人権に関する方針
- 企業行動指針
- サプライヤー行動規範

何らかの人権侵害の疑いまたは懸念がある場合、すべての利害関係者は、当社の人権責任者もしくはコンプライアンス部門に対して、または公益通報用ホットラインのインフィニオンインテグリティラインを通じて、報告することができます。

環境、エネルギー、安全衛生のための統合管理プログラム (IMPRES)

IMPRESは、社内で開発された管理システムであり、法的要件を満たすとともに以下の事項を確保することを目的としています。

- 効率的な資源管理
- 高度な安全衛生基準
- 環境保護
- 効率的なエネルギー管理

IMPRESは、以下の規格に従って構成され、認証を受けています。

ISO 14001[1] **ISO 45001[1]** **ISO 50001[2]**

[1] 2005年より、インフィニオンは、すべての主要製造拠点および本社で世界的に認証取得。| [2] 2012年より、インフィニオンは、欧州最大の製造拠点および本社で認証取得。

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオン従業員が創るより良い未来

インフィニオンでは世界の100を超える国の出身者58,100名[1]の従業員がひとつのミッションを共に追求：
暮らしをより便利に、安全に、エコに革新すること。詳細は www.infineon.com/careers

ムアマル カダフィ
能力開発部長、バタム



「あらゆる人が成長のための道程を明確に認識できて、将来の変化に対応できるようになるエコシステムを構築しています。従業員は、当社にとって最も強力な競争上の優位性となるものです。」

ベラ ウー
マネージャー、デジタルマーケティング、上海



「デジタルマーケティングのイノベーションを活用して、カスタマー エクスペリエンスをパーソナライズすることにやりがいを感じます。インフィニオンのハイブリッド カスタマー ジャーニー戦略を遂行してビジネスインパクトを拡大します。」

タン チー セン
シニアディレクター、生産、クリム



「インフィニオン クリムの一員として、コストと品質の両面においてSiCの世界的ベンチマークを達成する活動に携わることは、刺激的な経験です。」

ジュリア ステッフェン
スペシャリスト、グローバル タレント マーケティング、ミュンヘン



「若い人たちを触発して、半導体業界で経験を積んで当社の次世代を担う人材に成長してもらうことに情熱を注いでいます。」

[1] 2026年9月30日現在

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンの競争優位性：高品質を誇る業界リーダー

インフィニオンの企業方針： 「約束したことを実現するのが インフィニオンの品質」

インフィニオンの目標： 以下のコミットで不良ゼロを目指す：
コミットした機能性、信頼性、時間、量、コストを提供する。

インフィニオンの品質向上要因：



お客様中心

お客様のニーズを理解し、適切な製品およびサービスを納期どおりに提供する。



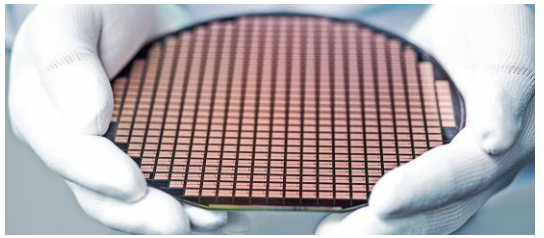
品質のためのリーダーシップ

組織内で品質目標に重点を置くよう徹底する。効果的、効率的、迅速かつデータ駆動で業務を遂行する。



逸脱回避の文化

逸脱回避、早期発見、迅速対応、体系的学習に努める。



ライフサイクルの安定性

開発、製品立ち上げおよび製造を管理し、確実にリスクマネジメントを実施する。

インフィニオンの基盤： ISO 9001、IATF 16949、AS 9100、IEC 17025、ISO 26262などの国際規格

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.

インフィニオンのソーシャルメディア アカウント

www.youtube.com/c/InfineonTechnologiesAG

www.linkedin.com/company/infineon-technologies/

www.instagram.com/infineon_technologies/

https://www.tiktok.com/@infineontechnologies

www.facebook.com/infineon



Disclaimer

Specific disclaimer for Omdia – part of Informa Tech – reports, data and information referenced in this document:
Information is not an endorsement of Infineon Technologies AG. Any reliance on these results is at the third party's own risk.

Specific disclaimer for S&P Global reports, data and information referenced in this document:
The S&P Global [Energy and/or Market Intelligence] reports, data and information referenced herein (the "S&P Global Materials") are the copyrighted property of S&P Global Inc. and its subsidiaries ("S&P Global") and represent data, research, opinions or viewpoints published by the relevant divisions within S&P Global, and are not representations of fact. The S&P Global Materials speak as of the original publication date thereof and not as of the date of this document. The information and opinions expressed in the S&P Global Materials are subject to change without notice and neither S&P Global nor, as a consequence, Infineon have any duty or responsibility to update the S&P Global Materials or this publication. Moreover, while the S&P Global Materials reproduced herein are from sources considered reliable, the accuracy and completeness thereof are not warranted, nor are the opinions and analyses which are based upon it. S&P Global and the trademarks used in the Data, if any, are trademarks of S&P Global. Other trademarks appearing in the S&P Global Materials are the property of S&P Global or their respective owners.

Specific disclaimer for Mobility Global reports, data and information referenced in this document:
The Mobility Global reports, data and information referenced herein (the "Mobility Global") are the copyrighted property of Mobility Global Inc. and its subsidiaries ("Mobility Global") and represent data, research, opinions or viewpoints published by the relevant divisions within Mobility Global, and are not representations of fact. The Mobility Global Materials speak as of the original publication date thereof and not as of the date of this document. The information and opinions expressed in the Mobility Global Materials are subject to change without notice and neither Mobility Global nor, as a consequence, Infineon have any duty or responsibility to update the Mobility Global Materials or this publication. Moreover, while the Mobility Global Materials reproduced herein are from sources considered reliable, the accuracy and completeness thereof are not warranted, nor are the opinions and analyses which are based upon it. Mobility Global and the trademarks used in the Data, if any, are trademarks of Mobility Global. Other trademarks appearing in the Mobility Global Materials are the property of Mobility Global or their respective owners.

Copyright © Infineon Technologies AG 2026. All rights reserved.


Infineon